

池田良穂 教授 最終講義

2015年1月30日(金) 中百舌鳥キャンパスA5棟124教室

大阪府立大学 大学院工学研究科 海洋システム工学分野 (工学部長・工学研究科長)

1月30日金曜日、16時15分からの5コマ目、90分間、通常の大学院の授業の枠を使っての最終講義には、学生たちだけではなく教職員など、教室いっぱいの100名以上の聴講者が詰めかけました。

「船舶・海洋の渦に魅せられた研究生生活43年の航跡」と題された講義では、池田先生の生い立ちに始まり、学生時代、大学院生時代、助手、講師、助教授、教授と時代ごとの研究内容が、専門外の聴講生にもわかりやすく語られ、学生時代には新しい実験方法を考え出し先生に驚かれたことや、競合する海外の教授との激論を交わしたことなどを、実に楽しそうに話される様子が印象的でした。

池田先生の考え出した「船の横揺れ減衰力の推定法」はIKEDA's Methodとして世界的に採用されているということなど、あらためて、その世界では知らない人のいないすごい先生であることを感じずにはられません。

また恩師との出会い、後輩に託す気持ちなど感慨深くお話されたり、好きなお酒のことなどは実に楽しそうに・・・、その愛すべきお人柄がにじみ出る講義は、聴く人たちをぐっとひきつけあつという間の90分でした。

来年度からは、大阪府立大学21世紀科学研究機構の「最先端船舶技術開発研究所」で異分野融合による新しい船舶技術の開発に関わっていかれるご予定で、それが楽しみでならないとのこと。船の魅力を世界中に発信していきたいという夢を語られる姿はまだまだエネルギーに満ちておられました。もちろん大好きな趣味の船を極め年間40隻に乗船したいとも。

最後に学生、教職員から花束が贈られ、最終講義は終了しました。船を愛してやまない池田先生、府大での研究生生活43年間本当におつかれさまでした。ありがとうございました。そして新しいステージでもますますのご活躍をお祈りしています！

